

令和元年 11 月 23 日 災害ボランティア 参加報告

参加者：古俣和博 寺尾二三夫 八木達雄 成川一正

行先：長野県長野市穂保（千曲川決壊箇所）

日時：11 月 23 日 5:50 県庁出発 現地 10:00～14:30 19:30 県庁到着

主催：新潟県ボランティア調整会議（新潟県社会福祉協議会）

参加：新潟県職員を含め 34 名

うち、新潟県支部の参加者 4 名 新潟市防災士の会数名

作業：午前・側溝の泥上げ 午後・リンゴの廃棄

10 月 12・13 日の災害発生からすでに、1 ヶ月以上経過しておりますが、被害が甚大で、まだまだ支援が必要な、長野市穂保地区に行ってきました。



快晴のなか、全国から、大勢のボランティアが参加していました。



↑ 出番を待つ新潟チーム



午前中は、側溝の泥上げ
側溝は、固く締まった泥で満砂、作業がやりにくい。



午後の作業リング畑に移動中、農道は、堆積した泥を除けただけで瓦礫や農業資材が散乱している。



まるで、津波被害のような状況
水量と水流の強さをものがたっている



手前は、ビニールハウスの骨組み
点々とリングが転がっている



午後は、リンゴの廃棄作業
美味しそうなリンゴを採っては捨て採っては捨てるむなしい作業